



梓川の  
世帯数・人口

世帯数	4,834戸
人口	11,843人
男	5,885人
女	5,958人
(令和8年3.1現在)	



### 梓川地区福祉のつどい 人権啓発落語会

2月7日(土) 梓川地区福祉のつどいが梓川福祉センターで開催され、落語で人権について学習しました。

「まつかわ落語会風まんだら」から、小じわ亭 唄栄・清流亭かじか・善亭穴太の3人による落語が披露され、軽快な語り口に会場は笑いに包まれていました。

人権啓発というと、どうしても堅いイメージを持ってしまいますが、人間関係が希薄になりがちな現代「人と人とのつながり、お互いに相手を尊重していくことの大切さ」について落語を通じて楽しみながら学ぶことができました。落語会終了後、就労センター・はたの販売会が行われ、参加者は手作りのかごや焼き芋などの買い物も楽しんでいました。



▶善亭穴太さん「芝浜」を熱演



▶就労センターばるす

### 信州梓川賞展

1月31日(土)から3月15日(日)に、梓川流域の自然や文化、行事を題材とした絵画の公募展「第25回信州梓川賞展」が、梓川アカデミア館で開催されました。

一般の部では77点、小中学生の部では457点の応募がありました。最高賞の梓川賞には、伊藤百合さん(松本市)の「春を熾す2月のりんご剪定枝片付け」が選ばれました。りんごの木の剪定で出た枝を片付ける際に火をつけている様子を描いた作品です。

伊藤さんは「これから訪れる暖かい春を呼び起こそうとしていくイメージと重なり、春を熾すというタイトルにした。これからも自分らしい表現を追求していきたい」と話していました。

審査員からは、「りんごの枝が燃やされて立ち上る煙が空に消えていく美しい情景が描かれており、春を待つ希望や期待が透明感のある色彩の中に浮かび上がっている作品」と講評がありました。



▶梓川賞を受賞した伊藤さん



▶小・中学生の部  
最優秀賞「楽しかった旅行」  
三浦侑誠さん(梓川小4年)

### 「初心者も楽しむ」 ファミリースキー教室

1月25日(日)松本市スポーツ推進委員(梓川担当)主催によるスキー教室がMt乗鞍スノーリゾートで開催され、5組14人の参加者がスキーを楽しみました。

参加者のレベルに合わせてクラス分けをして、講師の方々が丁寧に指導しました。

初めてスキーを履いた参加者は、最初は慣れないスキーに苦戦していたものの、午後にはリフトに乗り、楽しそうに滑り降りてくる様子が見られ、保護者の皆さんも子どもたちの上達の早さに感激していました。



▲みんなで記念撮影

真光寺伝統の「初庚申」  
だるまに託す健やかな一年

2月14日(土)・15日(日)の両日、上野地区の真光寺で初庚申が開催されました。

この行事は、毎年最初の庚申の日に行われる伝統行事です。近年は参拝しやすいよう、その前の土日に合わせて開催されています。

由来は、人の体内に潜む三戸の虫が、宿主の睡眠中に天帝へ悪事を報告するのを防ぐため、夜通し庚申様をまつた庚申待の信仰にあります。今日では、一年の無病息災や家内安全を願う大切な機会として、地域に親しまれています。

境内は、太い眉と力強い髭が特徴の「松本だるま」を買い求める人々で賑わい、15日には、地域の平和と幸せを願う大般若法要が厳かに営まれました。

実行委員長の齋藤久純さんは「地域の皆様の支えのおかげで、今年も伝統を繋ぐことができました。この大切な賑わいを、次代へ引き継いでいければと願っています。だるまのように力強く、皆様がこの一年を健やかに過ごされることを祈っております」と話

していました。今年も両日とも穏やかな陽気に恵まれ、参道には多くの露店が立ち並びました。



献灯で飾られた真光寺の本堂



松本だるまに願い事を一筆ずつ書き入れます

脳にも健康にも良い!!  
ボウリング大会

12月14日(日)、下立田公民館のボウリング大会が梓川コロシアムで行われました。

7歳から79歳まで42人が参加し、ストライクやスペアが出る度に、ハイタッチをして楽しく過ごしている様子が見られました。

ボウリングは老若男女楽しめるスポーツです。戦略を考える事で脳が鍛えられ脳の活性化・有酸素運動・全身運動・代謝アップにも効果があるとされており、下立田公民館では毎年、大会を開催しています。

年齢別女子の部で優勝した柴さんは「ストライクを出した時はストレスを忘れられます。ボウリングは皆さんにおすすすめしたいスポーツです」と話していました。



たくさんのお品が用意された表彰式

南北条町会の三九郎

個人戦3ゲームの合計点で順位を競いました



1月12日(月・祝)、三九郎が行われました。子ども会の小学生とその保護者が、町会の各戸を回って松やお正月飾り、だるまなどを集め、櫓に飾り付けました。

今年から林野火災注意報の運用が始まり、三九郎ができるか心配しましたが、この日は風も穏やかで、無事に点火することができました。地区の方も集まり、一緒に熾火になるのを待って餅を焼き、一年の健康を祈りました。

三九郎の後、町会の新年会が併せて行われました。20人以上の人が参加して親睦と交流を深めました。

南北条では、小学生が年々少なくなり、今年は全学年を合わせても6人でした。これからも三九郎のような行事が伝承できるよう、地域で世代を超えた大人たちも協力して、楽しめるものにしていく必要があるのではないのでしょうか。



地域の有志の協力で立派な櫓ができました



和やかに行われた新年会